

徳島県に漂着したトウダイグサ科 *Omphalea* 属の種子

濱 直大¹・茨木 靖²

[Naohiro Hama¹, Yasushi Ibaragi²: Notes on drifted seeds of genus *Omphalea*,
Euphorbiaceae on the beaches of Tokushima Prefecture]

キーワード：ビーチコーミング、漂着物、漂着種子

広義のトウダイグサ科の植物は、世界に約 300 属 7000 種ほどが知られており、漂着種子においてもアブラギリやククイノキなど、いくつかの種の漂着が知られている(石井, 1999)。筆者らは、これまで数年にわたり徳島県沿岸域の漂着物の調査を行い、多くの漂着種子を採集してきた。とりわけ 2011 年は徳島県への台風の接近・上陸が多く、7 月から 9 月にかけて 3 つの台風が県土に強い風と雨をもたらした。この台風の後には多くの県外由来の漂着種子が発見されたが、ここでは、その中から県内および国内でも本土に漂着例のない、トウダイグサ科に属するものを取り上げ、漂着の記録とともに種名の検討の結果を報告する。

調査地と漂着種子の概要

漂着種子は、いずれも著者の一人、濱が採集したものである。採集地は徳島県南部の沿岸域であり、黒潮の影響が大きく、南方系の漂着物が多く見つかる地域といえる (Fig. 1)。以下に、漂着種子それぞれについて解説する。



Fig. 1. Location of Tonomui-no-hama beach and Tai-no-hama beach where seeds of *Omphalea* were collected.

2012 年 2 月 6 日受付, 2 月 16 日受理.

¹ 〒779-2109 徳島県海部郡美波町田井 13-26 Tai 13-26, Minami-cho, Kaifu-gun, Tokushima 779-2109, Japan.

² 徳島県立博物館, 〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園. Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Tokushima 770-8070, Japan.

1. パプアアブラギリ *Omphalea papuana* Pax & K. Hoff.

標本：徳島県海部郡美波町外ノ牟井の浜（濱直大 2011 年 7 月 21 日採集：Fig. 2）

種子の形態：楕円形で、長さ 30.7mm、幅 30.9mm、厚さ 22.7mm。硬く、背腹方向にやや扁平。腹面はほぼ平らになる。背面は丸くふくらみ、表面には複雑で深い皺がある。色は黒色から灰色を帯びる。

Omphalea 属は、木本性の蔓植物または低木で、約 20 種が熱帯域に分布するが、3 種は旧世界に、その他はアメリカ大陸に分布する（堀田，1989）。本種は、ニューギニアからソロモン諸島およびオーストラリア北東部の森林に生える蔓性の植物である。その種子は、1957-1958 年にかけての異常な強風によって、南太平洋にあるキリバスのカントン環礁に大量漂着したことで有名である（Smith, 1999；Hopkins, 2000）。この時の漂着種子は、暫定的に *Aleurites erratica* O. Deg., I. Deg. & Hummel として 1978 年に新種記載されたが、後に種子の形状、大きさ、表面の皺などの形質を再検討した結果、本種であることが判明している（Hopkins, 2000）。

本種の漂着は、オーストラリアとニューギニアの間のトレス海峡、オーストラリア北東部のグレートバリアリーフ付近でまれに発見されている（Smith, 1999）。また、国内では、沖縄県への漂着が知られている（中西，2011 および林重雄氏，安延尚文氏私信）。なお，Gunn and Dennis (1999) によって，*Aleurites* sp. または，*Aleurites-like seeds* などとして引用されている漂着種子も本種である。

2. *Omphalea* aff. *diandra* L.

標本：徳島県海部郡美波町田井ノ浜（濱直大 2011 年 9 月 21 日採集：Fig. 3）

種子の形態：楕円形で、長さ 30mm、幅 24mm、厚さ 16mm。両端ともに丸いが、一方は先



Fig. 2. Seed of *Omphalea papuana* (Tonomui-no-hama beach, Minami-cho, Kaifu-gun, Tokushima. N. Hama 21 Jul. 2011). bar = 1cm.

端がわずかに突出する。種皮は硬く、背腹方向に扁平。背腹面ともにやや丸くふくらみ、表面には、複雑で浅い皺がある。色は黒色。漂着時には、内部がすでに腐敗していた。

ジャマイカアブラギリ *Omphalea diandra* L は、中～南米の森林に生える蔓性の植物で、海拔 100m 以下の熱帯森中に生える (Gillespie, 1999)。本種の種子の漂着は北アメリカ、西インド諸島など各地で知られている (Gunn and Dennis, 1999)。また、近年では沖縄県への漂着も知られている (中西, 2011)。本種の種子は、30 年にも及ぶ長期間、コンテナに入れた海水に浮いていられることが知られており、長距離の種子散布が可能と考えられる (Perry and Dennis, 2003)。

今回発見された種子は、形態的には、同科のシナアブラギリにも似ているが、シナアブラギリでは、種子の横断面が三角形を帯びるのに対し、この漂着種子では楕円形である。また、外形もシナアブラギリでは通常四隅に角ができ、四角に近くなるのに対して、この種子では完全に丸くなっている点で異なっている。石井 (1999) は、アブラギリ属の日本への漂着種子として、このほかにアブラギリ、カントンアブラギリ、フィリピンアブラギリ、ククイノキをあげているが、少なくともアブラギリおよびククイノキとは種子の形状が全く異なる。ジャマイカアブラギリが南アメリカに生育することや種子の大きさが Gunn and Dennis (1999) では、直径 4-5cm、また、Perry and Dennis (2003) では、5×5～8×7cm で、厚さが 4cm に達すると報告されていることなどから、この種子が本種であることにはやや疑問が持たれるが、現時点では、他に類似のものが無いことから仮にジャマイカアブラギリに類似したものとして報告したい。



Fig. 3. Seed of *Omphalea* aff. *diandra* (Tai-no-hama beach, Minami-cho, Kaifu-gun, Tokushima. N. Hama 21 Sep. 2011). bar = 1cm.

謝辞：越前町立福井総合植物園プラントピアの早坂英介氏には、学名の取り扱いについてご教示をいただいた。愛知県の林重雄氏、神奈川県のアノマリス氏には、パプアアブラギリの漂着についての情報をいただいた。また、長崎大学の中西弘樹教授には、*Omphalea* 属の種子の漂着についての貴重なご意見と情報をいただいた。これらの方々々に記してお礼申し上げます。

引用文献

- Gillespie, L. J. 1999. *Omphalea*. In : Berry P. E., Yatskievych K and Holst B. K. eds. Flora of the Venezuelan Guayana 5 : 183-184. Missouri Botanical Garden Press, St. Louis, Missouri.
- Gunn, C. R. and Dennis, J. V. 1999. World guide to tropical drift seeds and fruits. 240p. Krieger publishing company, Malabar, Florida.
- Hopkins, H. C. F. 2000. Identity and dispersal of *Aleurites erratica* (Euphorbiaceae), a pacific drift seed synonymized with *Omphalea papuana*. Kew Bulletin 55 : 109-122.
- 堀田 満. 1999. *Omphalea* L. 堀田 満編, 世界有用植物事典. 738p. 平凡社, 東京.
- 石井 忠. 1999. 新編漂着物事典. 380p. 海鳥社, 福岡.
- Li, B. T. and Gilbert M. G. 2008. *Vernicia*. In : Flora of China 11 : 266-267. Science Press, Beijing.
- 中西弘樹. 2011. 日本における熱帯起源の漂着果実と種子の希な種. 漂着物学会誌, 9 : 1-5.
- Perry IV, E. L. and Dennis J. V. 2003. Sea-beans from tropics, A collector's guide to sea-beans and other tropical drift on Atlantic shores. 217p. Krieger publishing company. Malabar, Florida.
- Smith J. 1999. Australian driftseeds. A compendium of seeds and fruits commonly found on Australian beaches. 123p. University of New England Printery, Armidale, New South Wales.